

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12010291

政策目標	3	のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	12	学校教育の充実	事業優先度	A		
単位施策	5	高校への継続的な支援	政策事務分類	1	単独自治事務(例規)	
事業名	雄武高等学校生徒進学支援対策事業		見直し年度			
事業期間	平成26年度		担当課	12	教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	入試対策用教材の購入		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
事業目標	教材DVDの購入(13講座)		関係例規・法令名			
住民参加	無		関係個別計画名			
住民協働						

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	入試対策用教材の購入 (教材用DVD)		入試対策用教材の購入 (教材用DVD)			
	事業費(千円)	630	0	630	0	0
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	630		630			
実 績 事 業 費	事業費(千円)	500	0	500	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	500		500			
特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		入試対策用教材(DVD)購入 費補助			
		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-終了 13講座	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
前期計画からの継続	年度目標値					
	年度達成率	#DIV/0!	79%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
第6期計画への継続	全体達成率	0%	79%	79%	79%	79%
	事業進捗状況		☆☆☆☆			

事業名	雄武高等学校生徒進学支援対策事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	澤田 朋 朗
		評価者 作成者 職氏名	教育振興課教育総務係長	武 藤 知 憲

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武高等学校	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	学力の定着を図る魅力ある高校づくりに対する支援	
【抱える課題やニーズは】	生徒数の減少に伴い、配置教員数が減少となり、教科担任に不足を生じる場合がある。	指標(指標計算式/解説)	目 標 値 及 び 実 績 値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	生徒のそれぞれの状況に応じた、学力を定着させるための学習環境を整備する必要がある。	① 町内高等学校数	目 標 年 度	平成26 年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	魅力ある学校づくりを推進することとなり、生徒数を維持することにより、地域の学校として存続が図られる。		目 標 値	13 講座
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	入試対策用教材(DVD)の購入	生徒の状況に応じた、入試対策用教材(DVD)購入費に対して補助金を交付しています。	実 績 値	13 講座
			達 成 度	100.0 %
			目 標 年 度	平成26 年度
			目 標 値	
			実 績 値	
			達 成 度	#DIV/0! %

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	進学に向けた、教員数の不足を補うための事業であり、雄武高校からの進学率の向上が、雄武高校への入学にも影響を及ぼすため必要であると判断します。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	進学を希望する生徒のために、必要な教材として整備したものであり、魅力ある学校づくり(事業)として有効であると判断します。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	雄武高校の存続は、進学率も存続の一因となっており、コストに見合った効果が得られるものと判断します。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	生徒数の維持を図らなければ、高校存続に大きく影響することから、公平性の観点からは問題がないと判断します。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
雄武高等学校の生徒数を維持するとともに、魅力ある学校づくりを推進し、地域の学校として存続させるための支援であり、計画どおり事業が進んでいます。		

今後の展開方向
(Action)

終了		
雄武高校通学生徒に対する支援は、保護者の経済負担軽減及び雄武高校の地域としての存続対策として実施しているものであります。今後、実施する場合は、雄武高等学校存続対策事業として実施するため、終了とするものであります。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止